

平成17年度第3回国立大学法人宮崎大学経営協議会議事要旨

日 時：平成17年11月21日（月） 14:00～15:25

場 所：宮崎大学大会議室（事務局棟4階）

出席者 本 学：住吉学長、名和理事、碓理事、江藤理事、大谷理事

学外委員：笹山委員、佐藤委員、秦委員、山崎委員

オブザーバー：岩切監事、木下監事、水光副学長、谷本副学長

列席者 北村経営統括監、川畑企画調整部長、山根財務部長

森山施設環境部企画管理課長、橋口学務部長、金城学術研究協力部長

朝役員秘書室長、羽室企画調整課長、西山人事課長、兼行監査課長、

田島財務課長、外

前回議事要旨の確認

学長から、前回議事要旨（案）【資料1】により確認があり、原案どおり承認された。

議事

1. 教職員の給与支給水準等の検討について

企画調整部長から、人事院勧告の取扱いについて【資料2】により説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。また、過半数代表者と協議の上、この方向で決定していきたい旨、説明があった。

2. 意見交換について

学長から、前々回の本会議においての意見交換について【資料3-1】により報告があり、また前回の会議においても、今後の経営協議会の在り方に関する貴重な意見を多くいただいたことについて真摯に受け止め、今後の大学及び本会議の運営等に活かしていきたい旨、発言があった。さらに、【資料3-2、3】について報告があり、種々意見交換が行われた。

報告事項

1. 宮崎大学将来構想（中間報告）について

学長から、宮崎大学が今後どのような方向を目指すべきかということについて、本学を背負っていく若手の教職員から意見を徴すべきであると考え、本年4月に将来構想特別委員会を設置し、【資料4】の中間報告を取りまとめた旨報告があった。また、最終報告書については、本年末を目途に現在作業を進めているところである旨、説明があった。

2. 平成18年度概算要求の状況について

財務部長から、平成18年度要求として、文部科学省から財務省に提出されたベースを受けて、本学の概算要求の状況について【資料5】により報告があった。また、大谷理事から特別教育研究経費の新規事業「農林畜産廃棄物利用による地域資源循環の構築」について補足説明があった。

3. 平成17年度大学・大学院における教員養成推進プログラム（教員養成GP）について

碓理事から、教育文化学部を中心とし地域と連携して教員養成と研修支援を推進するプログラムについて【資料6】により文部科学省から採択された旨、報告があった。また、教員養成GP採択によって、教職大学院設置にも有意に繋げていける旨、学長より補足説明があった。

4．平成17年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブについて

淀理事から、農工連携の大学院博士課程設置にも繋げていくテーマである「魅力ある大学院教育」イニシアティブについて【資料7】により採択された旨、報告があった。

5．宮崎大学特許出願状況について

金城学術研究協力部長から、法人化後の本学特許出願状況について、【資料8】により報告があった。また学長から、特に優れたものについては、国際特許取得のための学内戦略的経費を配分した旨、さらに名和理事から、知的財産面から大学の戦略を推進していき、今後、地元での実施、地元産業の振興を進めていく上で、包括連携協定を結んだ宮崎銀行、宮崎太陽銀行とも連携を深めていく旨、補足説明があった。

次回経営協議会の開催について

次回の経営協議会については、今後の議題等を整理し、日程調整の上、1月中に開催することとした。